

# ☆くしろ市議会だより

News from  
Kushiro City  
Assembly

2017年  
5月  
No.51

発行 釧路市議会  
編集 議会広報特別委員会  
釧路市黒金町7丁目5番地(議会事務局)  
TEL 31-4581  
FAX 23-7679  
✉ メールアドレス  
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp  
URL ホームページアドレス  
http://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html  
f フェイスブックページアドレス  
http://www.facebook.com/kushiroshigikai

次回の6月定例会は、  
6月14日(水)午前10時から開会の予定です。

ぜひ、傍聴に  
お越しください!



3月17日の本会議において「釧路市手話言語条例」が全会一致で可決、制定されたことを記念し、議場で聴力障害者の関係団体の皆さん、理事者、議員で記念写真を撮影しました。市議会としても、手話を使って豊かに暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。

## 議会日程

1/13

議会広報特別委員会

2/20

議会運営委員会

## 2月定例会(会期22日間)

2/24

本会議  
市政方針  
教育行政方針  
提案説明

3/2,3,6

本会議  
各会派代表質問

3/7,8

本会議  
質疑・一般質問

3/9

常任委員会審査

3/10

常任委員会採決(先議分)

本会議(先議分)  
委員長報告  
採決  
常任委員会審査

3/13~16

常任委員会審査

3/15

石炭対策・関連エネルギー  
調査特別委員会  
都心部市街地整備  
特別委員会

3/16

議会広報特別委員会

3/17

委員会採決  
本会議  
委員長報告  
討論  
採決

## ● 2月定例会の概要

2月24日(金)に開会した釧路市議会2月定例会は、平成29年度の予算案をはじめ、市政全般について活発な議論を行い、3月17日(金)までの22日間の日程を終え、閉会しました。

## 6会派による各会派代表質問

2月24日は、市長から市政方針、教育長から教育行政方針が示され、副市長から平成29年度予算案などの議案に関する提案説明がありました。

この方針・説明を受け、3月2日から6日までの本会議で、各会派代表質問を行いました。市政方針に関しては、「財政健全化」「中心市街地活性化」「世界一級の観光地づくり」「J.R問題」「市立釧路総合病院」「子育て支援」「福祉政策」「防災・減災」など、教育行政方針に関しては、「学校給食」「図書館整備」「子どもの読書活動推進」などの項目について質問がありました(2から4ページをご覧ください)。

## 一般質問に12人の議員が登場

3月7日から8日までの本会議で

## 委員会による議案審査

3月9日から16日にかけて、議案等に関する委員会審査を行いました(主な審査の内容は6ページをご覧ください)。

## 29年度予算案等の議案を議決

3月10日の本会議において、補正予算などを採決、最終日の3月17日は、平成29年度予算案などに対する採決を行いました。市長から提案された45件の議案のうち、35件が全会一致、残り10件は賛否が分れましたが、全て原案通り可決しました。

また、意見書案8件の提出があり、7件が原案通り可決、1件が否決となりました(審議結果は8ページに掲載しています)。

(文責・議会広報特別委員長 大越拓也)

## 会派略称説明

自民ク 自民クラブ  
市政進 市政進クラブ

市民連合 市民連合議員団  
公明 公明党議員団

共産党 日本共産党議員団  
新創ク 新創クラブ

# 本会議

## 各会派代表質問

3月2日(木)

### 「釧路湿原国立公園指定30周年記念事業を盛大に 「釧路湿原の魅力により多くの方々に周知」

自民クラブ 草島 守之議員

**問** 釧路湿原国立公園は指定30周年を迎えるが、記念事業は観光振興の観点からも盛大に開催すべきと考える。また、釧路湿原は重要な水源で、保水機能も発揮しており適正な管理が求められるが、市の見解を聞きたい。

**答** 指定30周年の周知のため、市の各種事業に冠タイトルを付けるとともに、釧路湿原の魅力により多くの方々に周知できるように、工夫を凝らしていきたい。また、関係機関と連携し、将来にわたる釧路湿原の保全に努めたい。

旅行者に選ばれる観光地を一つ一つ取り組みであり、それぞれ推進すべきと考えるが、世界一級の観光拠点地区として完成された姿をどのように描いているのか。

**答** 観光立国のモデル都市に選定された市として、富裕層旅行者をはじめ国内外の多種多様な旅行者に選ばれ、豊かな自然とアイヌ文化を生かした観光地づくりを目指している。

**問** 国の研修事業が継続され安堵しているが、釧路コールマインの生産計画変更による不安の声がある。今後の見通しと、釧路火力発電所建設に向けた市長の決意を聞きたい。

**答** 釧路コールマインでは、火力発電所の平成31年の運転開始を見据えた中で、安定生産を軸に長期計画を見直したものである。火力発電所の稼働により、同社の経営の安定が可能となることから、事業が円滑に進むようしっかりと取り組んでいきたい。

**問** 「観光立国シヨーケース」「国立公園満喫プロジェクト」は、2020年までに多くの



**問** 釧路市学校給食センターの移転改築について、早期の

実施を求めるとともに、自然災害や細菌感染などのためのリスク分散として、2カ所に分けて建設すべきと考えるが、見解を聞きたい。

**答** 今後の給食提供については、一括管理による衛生管理の徹底など多面的な視点から検討を進めるべきと認識している。また、設置エリア等については市内の「学校給食センターあり方庁内検討会議」の議論を踏まえながら、最も市民負担が少なく、かつ食の安全安心を確保できる方法を検討していきたい。

**問** 平成28年9月定例会で、JR単独では維持困難な線区について、交通政策における重要性という観点から、道に主体的に取り組んでもらえるよう要請していくとのことだったが、その後の経過を示してほしい。

**答** 道において、道内の鉄道網の在り方に関する検討組織を立ち上げ、このたび報告書がまとまったところである。市としては、今後道が示す考えを注視し、利用促進策も含めて必要な対策をとっていきたい。

### 「LGBTについて学ぶ機会を 「思春期保健講座」『教職員向け研修』を実施」

市民連合議員団 宮田 団議員

**問** 新年度は「くしろ男女平等参画プラン」の見直し年度となるが、性的少数者(LGBT)について新プランの中の位置付けを大きくし、学ぶ機会をつくっていくべきと考えるが、見解を聞きたい。

**答** 新プランにおける位置付けは、男女平等参画審議会での議論を踏まえて検討したい。また、性の多様性について学ぶ機会に関しては、現在、中高生対象の「思春期保健講座」で話題としているほか、新年度からは教職員向けの研修を実施していく。

施策が示されているが、総合戦略2年目となる平成29年度予算案に、具体的な施策としてどのように盛り込んだのか。

**答** 将来に明るい展望が持てるまちづくりを進めることができるよう必要な事業を予算化した。地域が持続的に発展していくためには雇用が重要であり、さまざまな産業分野で生産力を高めるため、新たに専門的人材を活用し、企業や事業者が抱える課題に対して具体的な戦略を提示する支援体制を構築していく。

**問** 子どもたちが地場産業の素晴らしさや命の大切さを学び、さらには食育にもつながるJA阿寒青年部と市が連携して行っている酪農出前授業の拡充に向け協議してほしい。

**答** 子どもたちが酪農出前授業を通して酪農や命の大切さなどを学ぶことは有意義であり、今年度は小学校5校、116名の児童を対象に行った。映像などの活用も含め、工夫ができないか関係機関と検討していきたい。

**問** 嘱託職員の雇用形態の在り方について、現在は1年毎の更新で10年までという期間の定めがあるが、総務省における新たな仕組みとなる一般職非常勤職員制度への研究などを踏まえた、今後の市の対応を示してほしい。

**答** 嘱託職員の任用制度に関しては、今国会において非常勤職員制度の抜本的な見直しを含む、地方公務員法等の改正案審議が開始される見通しであることから、国の議論の行方を注視したい。

**問** JR根室本線と釧網本線の連携強化し、経済界、観光団体など官民の総力を挙げて取り組むべきと考えるが、見解を聞きたい。

**答** 両路線については、沿線自治体のみならず地域全体の問題として、路線維持に向けた活動を進めていくことを1月13日の釧路地方総合開発促進期成会の常任理事会で決定した。さらに2月13日には、根室地方総合開発期成会と合同で道に対し要請を行ったところであり、今後も道の考えを注視していきたい。



**問** 「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、今後5年間に取り組む4つの重点戦略と5本の分野別基本目標・

#### 用語解説

※1 観光立国シヨーケース 「日本再興戦略改訂2015」(平成27年6月30日閣議決定)に基づき、多くの外国人旅行者に選ばれ、観光立国を体現する観光地帯を作り、訪日外国人旅行者などを地方へ誘客するモデルケースを形成しようとするもの。全国の応募の中から釧路市を含む3都市が選定された。

#### 用語解説

※2 LGBT 女性同性愛者(Lesbian)、男性同性愛者(Gay)、両性愛者(Bisexual)、性同一性障害を含む性別越境者(Transgender)の頭文字をとったもの。

### 市税歳入増加に向け労働力・技術力の強化を ”IoT・AIなどの技術を活用“

市政進クラブ 大澤 恵介議員

**問** 市税による歳入増加を図るため、市民総生産向上の施策として労働力・技術力強化に向け集中的に投資を行うべきと考えるが、見解を聞きたい。

**答** 少子高齢化で生産年齢人口が減少する中、経済成長のためにはIoTや人工知能(AI)などの技術の活用は欠かせないと認識している。市としてもこれらを活用した取り組みが、地域内で加速できるように、地元企業と調査研究を深めながら支援を図りたい。



**問** 新図書館周辺の土地を市が買い上げて地元民間事業者と中心市街地活性化に向けた計画を作るなど、大胆な政策も必要と考えるが見解を聞きたい。

**用語解説** ※3 IoT(Internet of Things) モノのインターネットと呼ばれるパソコンや携帯電話だけでなくテレビやエアコンといったモノも、インターネットを介して遠隔からも操作できること。

### 旅行者が市内でふるさと納税できる仕組みを ”市の魅力を実感して納税してもらう仕組み“

公明党議員団 松橋 尚文議員

**問** 観光立国ショーケースに関する取り組みなどで市を訪れる旅行者の増加が見込まれるが、釧路を満喫した人に、市内でふるさと納税してもらう仕組みをつくることでの効果が期待できる。見解を聞きたい。

**答** 市を訪れる旅行者からのふるさと納税については、これまで市役所に直接来てカタログや申込書を渡したケースがあり、その場での寄附の受け付けも可能となっている。今後も釧路市の魅力を実感した人に対する効果的なPR方法などを研究したい。



**問** 針葉樹材を広葉樹材並みの硬い材質に変えるケボニ化技術は、釧路のカラマツ材

**用語解説** ※4 ケボニ化技術 サトウキビやトウモロコシなどの農業廃棄物から抽出した物質を針葉樹材に加圧加熱しながら含ませ、柔らかい針葉樹材を硬い材質に変える技術のこと。

### 水のカムイ観光圏の整備 泊客増加を目指しているが、 取り組みを示してほしい。

**答** これまで、釧路観光コンベンション協会が主体となり、首都圏での商談会や大阪、名古屋などでの誘客PR、航空会社と連携した情報発信に取り組んできた。今後も観光立国ショーケースの取り組みが海外のみならず国内への知名度も高めていけるよう、観光資源の磨き上げを進めていきたい。

**問** IRに対する市民理解が進まずに悪いイメージばかり

**問** 水産業における担い手対策と増殖殖産事業のさらなる研究および事業の拡大についての認識を示してほしい。

**答** 漁業後継者の確保には、漁業経営の基盤を安定させることが重要であり、資源の維持増大から製品販売に至る水産振興施策を総合的に進めることが効果的と考えている。増殖殖産事業は試験研究機関による指導・助言により進められており、特に国によるベンチマークの試験研究は、市と地元水産業界の要望で本年度より開始されたものである。

### 絶滅の危機にひんしている 釧路川水系のイトウ保護の ため、市がリーダーシップを 発揮して流域自治体と連携し、 保護条例制定に向けて協議す べきと考える。見解を聞きたい。

**答** 日本最大の淡水魚で、環境省の「絶滅のおそれのある野生生物のリスト」にも掲載されているイトウの保護については、道が道内の保護活動団体と情報交換を行っていることと聞いている。道などからの情報収集に努め、イトウ保護の在り方について研究したい。

**問** 未就学児童の医療費につ

**問** 学校給食費の未納問題が  
当市においても問題化しつつ  
あるが、給食費の児童手当か  
らの徴収制度を確立すべきと  
考える。見解を聞きたい。

**答** 平成25年度から、過年度分の滞納分について本人同意の上、児童手当からの徴収を一部実施している。この仕組みを児童手当受給者全員に対して拡大することについては、課題や対応方法について一定の整理が必要であることから、今後、先進地の事例を研究し、実現の可能性を探っていききたい。

## 本会議

## 各会派代表質問

3月3日(金)

# 本会議

## 各会派代表質問

3月6日(月)

### 南スーダンへの自衛隊員派遣に対する見解を ”国政の場で議論されるべき”

日本共産党議員団 松永 俊雄 議員

**問** 内戦状態の南スーダンへの次期派遣部隊に、釧路市民である自衛隊員が派遣されようであるが、この事態をどう受け止めているのか市長の見解を聞きたい。

**答** 南スーダンでの国連平和維持活動(PKO)を含めた日本の平和安全法制など国法に関わる事項については、国民に十分な説明を行い、国政の場で議論がなされるべきものと考えている。



**問** 水産加工による食品製造で全道一のまちづくりを進めるため、水産加工振興センターの建て替えなど抜本的強化を急ぐべきと考える。また、北海道区水産研究所や釧路水産試験場なども協力し、同センターが地域の中心的役割を果たすべきと考えるがどうか。

**答** 地元の水産加工事業者にとって、その支援を担う同センターの果たす役割は重要であると認識している。今後も釧路水産試験場などと連携を図りながら、その機能をしっかりと維持していきたい。

**問** 当市の市民所得は道内でも下位にあるが、貧困と格差が広がる中で、5000件を超える滞納処分差し押さえは目に余る。もうやめるべきと考えるがどうか。

**答** 滞納処分は、法に基づき行われているものであって、納付者間における公平性を保つ上からも必要なことであり、社会のルールを守ることが前提にあるものと認識している。また、差し押さえは、納付がなく、相談もないなどの滞納者を対象としており、滞納の解消とともに、納付意識を高めてもらえるよう、これから適切な滞納処分を行っていると考えている。

**問** カジノ・IR誘致は阿寒の自然やアイヌ文化と全く相いれないと考える。カジノが成長戦略となるはずはなく、まともな経済対策をすべきであり、すっぱりやめることを求めるがどうか。

**答** 阿寒湖温泉地区は、世界的に見ても優れた観光地であると考えており、さらに一級の滞在型観光地にするための取り組みの一つがIRであると認識している。今後も、上質で豊かな自然環境を大切にすべく、道や関係団体などとの連携を図りながら取り組んでいきたい。

**問** 新年度予算に計上されている新図書館の資料整備予算が少なすぎる。立派な図書館にしてほしいという市民の期待を裏切るものだ。今年度と比較し、なぜ500万円程度の増額にとどまったのか聞きたい。

**答** 新図書館の蔵書の充実を図るため、指定管理費における資料購入費に加えて新年度予算で上乗せ分を計上した。この上乗せ分は、厳しい財政状況での予算編成において、市が新年度に取り組むべきさまざまな事業を勘案して確定したものであり、平成30年度以降も来館者の要望などを踏まえた上で、予算編成の中で協議していきたい。

**問** 春湖台の富士見緑ヶ岡通は単線で、バスが右左折すると後続車両は直進できない。特に市立病院駐車場と幣舞中学校の間の交差点は狭く、ひどい時は春採湖方面からの流れが止まるほどの渋滞になる。新棟建設に当たり病院敷地内にバス停を設けるのであれば、交差点を幅員拡張すべきでは。

**答** 同交差点においては、現在、幣舞中学校側の車線に右折レーンがあるため、市立病院側の車線に左折レーンを設置できないか検討している。

### 市立釧路総合病院前の交差点の幅員拡張を ”病院側車線に左折レーンの設置を検討”

新創クラブ 大越 拓也 議員

**問** 春湖台の富士見緑ヶ岡通は単線で、バスが右左折すると後続車両は直進できない。特に市立病院駐車場と幣舞中学校の間の交差点は狭く、ひどい時は春採湖方面からの流れが止まるほどの渋滞になる。新棟建設に当たり病院敷地内にバス停を設けるのであれば、交差点を幅員拡張すべきでは。

**答** 同交差点においては、現在、幣舞中学校側の車線に右折レーンがあるため、市立病院側の車線に左折レーンを設置できないか検討している。



**問** 春湖台の富士見緑ヶ岡通は単線で、バスが右左折すると後続車両は直進できない。特に市立病院駐車場と幣舞中学校の間の交差点は狭く、ひどい時は春採湖方面からの流れが止まるほどの渋滞になる。新棟建設に当たり病院敷地内にバス停を設けるのであれば、交差点を幅員拡張すべきでは。

**答** 同交差点においては、現在、幣舞中学校側の車線に右折レーンがあるため、市立病院側の車線に左折レーンを設置できないか検討している。

**問** 市役所で「プレミアムフライデー」を導入し、市職員の年次有給休暇や育児休業の取得率向上につなげると同時に、市役所が他に先駆けて導入することで市全体の機運が高まり、民間企業も追随しやすくなるのではないかと考えるが、見解を示してほしい。

**答** 市職員に対しては、プレミアムフライデーの意義や目的などと併せ、年次休暇の計画的な取得促進の一つの手段として、周知していきたい。

### 市役所で「プレミアムフライデー」を導入し、市職員の年次有給休暇や育児休業の取得率向上につなげると同時に、市役所が他に先駆けて導入することで市全体の機運が高まり、民間企業も追随しやすくなるのではないかと考えるが、見解を示してほしい。

**答** 市職員に対しては、プレミアムフライデーの意義や目的などと併せ、年次休暇の計画的な取得促進の一つの手段として、周知していきたい。

**問** 今年度も「夜の動物園まつり」で7月と8月に計3日間、午後8時半まで動物園の営業時間が延長された。シマフクロウなど多数の夜行性動物の活動を見ることができ、これからも、この取り組みを長期間実施し、併せて「涼しい釧路」をPRすることで多くの来園者を確保すべきでないか。

**答** 動物へのストレス増加が懸念されることなどから現状では現在の実施回数に限界があるが、夜行性の動物について学習する機会でもあり、来園者の満足度を高めるといった観点から期間延長の可能性等について研究したい。

**問** 植物学者で国立台湾博物館の初代館長を勤めた川上瀧彌氏がマリモを発見し、命名してから今年で120年の節目を迎える。同博物館ではマリモの特別展を実施し、釧路日台親善協会は現地で開催するとのことだが、官民挙げてオール釧路で取り組むべきではないか。

**答** 関係団体および市内の関係部署と連携・協力を図り、実行委員会を組織して取り組みを進めたい。また、マリモを介した釧路と台湾との交流がさらに発展・継続できるように、機運の醸成に努めたい。

**用語解説** ※5 プレミアムフライデー 毎月末日金曜日の退社・退庁時刻を早め、夕方からの時間を買い物や飲食、趣味、旅行などに充てることで個人消費を拡大しようとする、政府と経済界が推進する取り組み。平成29年2月24日から実施された。

本会議

3月7日(火)～3月8日(水)

今定例会では、12名の議員が登壇しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

質疑・一般質問

3月7日(火)



新創 森 豊議員

外国人の救急通報への対応は

問 当市の外国人宿泊客数は年々増え、今後も観光立国シヨーカーズなどでさらに多数の来朝が予想されるが、外国人の救急通報に対してどのように対応するのか聞きたい。

答 高機能消防指令センター設備一式を更新し、3月27日から運用開始する。新機能の一つは外国人通報者に対し「はい」「いいえ」を答えてもらう事で容易に意思疎通が図れるもので、英語、韓国語、中国語、ロシア語、ベトナム語の5つの言語に対応しており、非常に有効であると考えています。



自民 伊東 尚悟議員

中学校の規則の在り方は

問 市内の中学校では生活指導担当教員がさまざまな決まりを設けているが、市教委や保護者への周知が十分でなく、各学校、学年によっても内容が違いため混乱を招いている。保護者の協力を得るためにも、統一、明文化するなど、現実に合った生活指導にあたるべきである。

答 まずは現状を教育委員会で整理し、その上で今後の対応を各学校と協議しながら、生徒指導担当教員の意見も尊重して、子どもたちを守るためにしっかりと取り組んでいきたい。



公明 河合 初恵議員

地域振興とグローバル化に対応した英語教育の実施を

問 他都市ではALT(外国語指導助手)を大幅増員してグローバル化に対応した英語教育の事例がある。観光立国シヨーカーズに選ばれた中で、当市でも英語教育を強化すべきと考えるが、市長の見解を聞きたい。

答 コミュニケーションに必要なツールとして、英語に親しみ、また、社会環境の変化からビジネスで必要なスキルとして英語があることを踏まえた上で、子どもたちの可能性や選別肢が広がる英語教育の在り方を考え、取り組んでいきたい。



市政 松永 征明議員

高齢者の就労支援システムの拡充を

問 人口減少、高齢化社会を乗り越える施策として、意欲ある高齢者の労働参加が必要である。経験豊かな高齢者が地域の支えとなって活躍できる支援システムの拡充が必要であると考えるが、市の見解を聞きたい。

答 高齢者の活動の場を広げることは課題と認識している。シルバー人材センターや社会福祉協議会等の関係機関が連携し、セカンドライフに係る就業などを支援している事例もあるので、それらも参考にしながら仕組みづくりについて研究していきたい。



共産 工藤 正志議員

市道民税特別徴収税額決定通知書へのマイナンバー記載をやるべき

問 本年5月に発送される市民税・道民税特別徴収税額決定通知書にマイナンバーが記載されようとしているが、個人情報保護の観点からも記載すべきでないかと考える。市の見解を聞きたい。

答 平成29年度分の同通知書からマイナンバーの記載欄が設けられ、また、「個人番号は記載する」とした総務省からの通知を踏まえ、国の指示通りに対応することとしている。また、特別徴収義務者には留意点を記載した文書を同封し、簡易書留で送付する予定である。



市民連合 岡田 遼議員

大楽毛地区の公共施設複合化への見直しは

問 老朽化が進んでいる大楽毛地区の老人福祉センター、生活館、児童センター、神馬事記念館の統合による複合施設は、津波発生時の避難施設としても重要なものであり、1年でも早い整備が必要と考えられる。今後の見直しについて聞きたい。

答 新年度において、地域提案の公共施設複合化に取り組むこととし、施設の機能・規模、津波避難スペースの確保、管理運営など具体的な検討に着手し、地域との協議を進めていきたいと考えています。

3月8日(水)



自民 続木 敏博議員

高齢者バス無料乗車証の導入を

問 釧路市地域公共交通網形成計画の実施に伴い、バス利用が減ってしまうことが想定される。その解消のために満70歳以上の方が利用できる「高齢者バス無料乗車証」を導入すべきと考えるがどうか。

答 市が現在実施している高齢者バス等利用助成事業については、地域公共交通の在り方全体の見直しに関する議論を踏まえながら、第6期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の期間内に制度の見直しを検討することとしている。



市政 鶴間 秀典議員

市内複合公共施設の進捗状況は

問 新年度に、複合公共施設第1号が緑ヶ岡・貝塚地区で着工されるが、松浦地区や大楽毛地区、星が浦・鶴野地区における複合公共施設の現在の進捗状況などを示してほしい。

答 松浦地区は共栄小学校敷地内に集約する検討を進めており、平成29年度には用地確定測量を実施する。大楽毛地区と星が浦・鶴野地区はそれぞれ地域からの要望を受けており、大楽毛地区は新年度に具体的な検討に着手し、星が浦・鶴野地区は今後複合化を検討していきたい。



共産 村上 和繁議員

全てのアスベストに係る調査結果の公表を

問 市有施設のアスベスト等の使用実態について、煙突用断熱材だけでなく配管保温材も含め、全て発表すべきと考える。また、煙突の灰出口は異常の有無にかかわらず囲い込むべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

答 現在実施している煙突用断熱材の調査と平成26年度の配管保温材の調査結果を市のホームページなどで公表し、また、灰出口については煙突用断熱材の劣化・損傷の点検の終了後に全て囲い込むこととしている。



市民連合 松尾 和仁議員

JR釧路駅観光案内所の営業時間見直しを

問 JR釧路駅観光案内所が営業内所が移転リニューアルするが、多様化する観光客のニーズに対応するため、窓口営業時間を見直すべきと考えるが、見解を聞きたい。

答 駅の観光案内所はJR利用者以外の来訪も想定され、早朝から深夜まであらゆる時間帯においての利用が考えられる。まずはその実態把握に努め、利用ニーズや費用対効果、旅行センターの開設時間などを踏まえ、同案内所の開設時間について検討していきたい。



自民 戸田 悟議員

市に視覚障がい特別支援学校高等部の設置を

問 視覚障がい者の中学校卒業後の進路は札幌だけとなる。東北北海道の中間が釧路になることから、北海道釧路鶴野支援学校に視覚障がい特別支援学校高等部を設置することを道教育委員会に要請し、早急に結果を導いてほしい。

答 できるだけ身近な地域において、障がいの種別などに応じた専門的な教育を受ける機会を確保する視点に立ち、入学の対象となる保護者の意見を聞き、東北道全体でのニーズも含めて道教育委員会と協議をしていきたい。



共産 梅津 則行議員

子どもの実態調査の実施を

問 平成28年に道と札幌市が実施した「子どもの実態調査」は、平成29年度には旭川市も実施を予定している。市としても昨年度に実施した「ひとり親家庭調査」も踏まえて「子どもの実態調査」を検討すべきと考えるがどうか。

答 平成27年に実施した「ひとり親家庭の生活意識に関する調査」により、収入状況など各種施策の検討・立案に必要なデータを収集し、状況を把握している。この調査結果や道が実施した調査も参考に、今後も子どもの貧困対策に取り組んでいきたい。

# 委員会審査

3常任委・2特別委

今定例会では、3常任委員会と2特別委員会の審査を行いました。その中から、主な審査内容をお知らせします。

## 総務文教常任委員会

山口 光信 委員長

阿寒湖温泉地区  
「小中学校整備の状況は」

「阿寒湖温泉地区の小中学校施設整備については、市内で初となる9年間一貫した教育を行う義務教育学校として整備されるが、スケジュールはどのように考えているか。」との質問がありました。

理事者は、「保護者や地域とも方針が確認できたことから、平成29年度より設計を進め平成31年度着工を目指したい。そのため、地域の特性を生かし、小中連携を重視した特色ある教育活動や求められる機能等について、新年度早々にも意見交換会等を実施するなど、学校関係者や地域との連携を図りながら、早期整備を目指して、円滑な事業の推進に努めていきたい。」と答えました。

地域公共交通網形成計画策定  
「釧路町とも協議を」

「地域公共交通網形成計画の策定に関し、住民は通院や買い物のために釧路市と釧路町の行政区域を意識することなく往来しており、バス路線網の再編には釧路町とも協議する必要があるのではないか。」との質問がありました。

市長は、「同計画については、釧路市地域公共交通活性化協議会で議論しており、釧路町と白糠町もオプザーバーとして参加している。釧路町の大型商業施設のバス路線については、骨格公共交通軸に位置付けられており、同計画の策定に当たっては、釧路都市圏を構成する釧路町、白糠町ともしっかりと協議していきたい。」と答えました。

## 経済建設常任委員会

宮田 団 委員長

釧路熱供給公社  
「解散に係る市の負担は」

「株式会社釧路熱供給公社の今後の方向性について、事業を終了し廃止を念頭に検討を進めていくことだが、土地の処分や建物の除却などにより、市としても一定の費用の負担が求められると想定されるが、今後の見通しを示してほしい。」との質問がありました。

理事者は、「平成33年度以降、同公社の熱供給が不要となる見込みとなった。廃止に当たっては、建物の除却に相当な費用が見込まれ、市としても一定の費用負担がかかるなどの課題があるため、今後、それらの整理をしていきたい。」と答えました。

観光振興ビジョン(案)  
「経済波及効果の目標達成に向けての進め方は」

「第二期釧路市観光振興ビジョン(案)では、経済波及効果を基準年次の2倍に高めることを目指しており、これをおおむね10年間で達成することとしている。目標達成に向けて、年度ごとに目標数値を持ち、DMO等の関係団体と連携しながら進めていくことになるかと考えるが、市の見解を聞きたい。」との質問がありました。

理事者は、「経済波及効果は産業連関表に基づき算出している。平成29年度に経済波及効果調査を予定しており、産業連関表がおおむね5年ごとに更新されることから、このタイミングに合わせて、5年後、10年後にそれぞれ検証を行っていきたい。」と答えました。

用語解説 ※6 DMO (Destination Management/Marketing Organization) 観光地の一体的ブランドづくり、マーケティング、戦略策定等について、地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体のこと。

## 民生福祉常任委員会

梅津 則行 委員長

障害福祉サービス等ニーズ調査結果  
「自由意見からさらなる取り組みを」

「障害福祉サービス等ニーズ調査結果報告書において、自由意見として具体的な意見が多数寄せられている。このような意見を、しっかりと受け止め、生かしていくことが重要であると考えますが、今後、どのように反映させ、また、取り組んでいく考えなのか。」との質問がありました。

理事者は、「市役所内の関係部署には、既にアンケート調査結果を冊子にして配布し、市立病院、防災、教育、こども保健部各課で内容を確認している。今後、市役所外の関係機関にも配布し、協議を必要とするところを探っていきたい。また、計画の見直しだけではなく、福祉、教育、医療、まちづくり分野など関係部署とも情報を共有するほか、ニーズ調査報告書は、ホームページを活用し一般にも公表する予定である。」と答えました。

高山新「こみ最終処分場」  
「整備の見通しは」

「平成29年度より着手する高山の次期最終処分場の整備計画について、今後はどのような進められるのか。」との質問がありました。

理事者は、「現在の施設が7年後にいつぱいになるために整備するもので、現在地の左側約24万5000立方メートルの整備となる。こみの分量そのものが減ってきていることから、新施設の容量は現在(84万4000立方メートル)の3分の1以下になる予定である。総事業費は概算で約41億8000万円となっており、平成35年度内の施設完成を目指すこととなっている。」と答えました。

## 石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会

続木 敏博 委員長

火力発電所建設  
「市民不安の払拭を」

「釧路火力発電所建設に当たっては、稼働後の騒音、振動、大気汚染等に対する市民の不安を取り除くことが重要と考えるかどうか。」との質問がありました。

理事者は、「環境アセスメントによる測定や評価の結果は規制値を下回る見込みであるが、市民の理解を得ることは重要であり、事業者において自主的に説明会を開催する。また今後、市と事業者の間で公害防止協定を締結し、稼働後も適正な運転管理が行われるよう対応していく予定である。」と答えました。

## 都心部市街地整備特別委員会

渡辺 慶藏 委員長

釧路都心部まちづくり計画の検討  
「商工会議所をはじめとした各種事業者や関係団体と協議を」

「釧路都心部まちづくりの検討に当たり、より多くの市民意見を反映させるため、外部組織との意見交換を実施するとあるが、どのような団体との協議を想定しているか。」との質問がありました。

理事者は、「この検討を継続していく中で商工会議所をはじめとして、駅周辺の施設検討のために重要なバス・タクシーの交通事業者、将来的な土地利用や道路・公園の配置を含めた技術的な観点から技術士や建築士など有資格者の団体、駅周辺の事業者や町内会等とも協議をしていきたい。」と答えました。

〈賛否の討論〉

採決に当たり、2会派が賛否の討論を行いました。要旨は次のとおりです。

反対討論

共産党 松永 俊雄議員

平成29年度一般会計他3予算案について、反対討論をする。

予算案は、深刻に現れている貧困と格差の広がり、非正規雇用の広がり、経済の停滞などに対して、観光での新たな取り組みはあるものの、全体として力の無いものであり、期待を裏切るものと言わざるを得ない。中でも新図書館の図書資料整備費の増額500万円は驚きを通り越している。

深刻の度を増している釧路の地域経済に対して、水産・農業など基幹産業への対策で特に目新しいものも無く、後継者対策も通り一遍であり、力強さが全く感じられない。基幹産業を中心とした地元中小企業への新たな支援、条件を生かした食品製造を力強く応援するなど、販路拡大を含めた取り組みがあまりにも少ない。

また、国民健康保険特別会計では広域化を目前にしての2年連続の国保料値上げは、政策的繰入がゼロだったという事実と相まって、結果として9割を超えるほとんどの加入者に負担増を押し付ける結果となっている。

後期高齢者医療特別会計では、国による低所得者負担軽減措置の廃止によって1人1万円もの値上げになることに対し何の措置もされていない。港湾整備事業会計では、水面貯木場埋立地の売却、土地利用の明確な見通しが無いままであり、西港の土地売却でも精度が低い。

最後に、阿寒の自然やアイヌ文化とIR・カジノは全く相いれないものであることを強調し、反対する。

賛成討論

市民連合 松尾 和仁議員

平成29年度各会計予算案に関して賛成討論する。平成29年度予算案においては、30億9900万円の財源不足が見込まれる非常に厳しい状況の中、全体を通して将来を見通したまちづくりを進めるといった大きな視点が貫かれている。

特に、観光施策においては戦略的な施策が重点化されており、観光資源の磨き上げ、ストレスフリーの環境づくり、国内外への情報発信という取り組みが明確に位置付けられている。また、長期滞在やMICE誘致などを促進し、地域特性を最大限生かした魅力ある滞在型観光地域づくりを進めるといった市長の決意が示されているものである。

新たな雇用を生み出す産業の強化として、産業支援体制の構築、域内循環の促進、販路拡大支援などのほか、雇用を創り出すことや女性・若者の就労と創業支援、雇用拡大に意が用いられている。

また、地域包括ケアシステムの構築に向け、在宅医療と介護の連携に関する相談窓口を市立釧路総合病院に設置し、高齢者に対する継続的で適切な支援体制を構築することと併せ、高齢者を支える仕組みづくり、特別養護老人ホーム施設整備支援、高等看護学院改築着手、障がい者や障がい児を日常的に介護している家族の負担軽減なども、地域での安心な生活を支える上で重要な施策であり、評価できるものである。

今あるもの、今あること、その価値自体を高めていくことに全市を挙げて取り組む市長の決意と方針は、思いと同じにするものであり、平成29年度各会計予算案に賛成する。

用語解説

※7 MICE Meeting (企業等の会議)・Incentive Travel (企業等の旅行)・Convention (国際機関・団体、学会等が行う国際会議)・Exhibition/Event (展示会・見本市、イベント)の頭文字を取った造語で、多くの集客交流が見込まれる、ビジネスイベントなどの総称のこと。通常、マイスと読む。

民生福祉常任委員会  
意見交換会

民生福祉常任委員会では、3月14日(火)に意見交換会を開催し、市立釧路総合病院の院長および看護部長と、地域における市立病院の医療機能の在り方と、市立病院における医師確保の課題について意見交換しました。院長からは、地方センター病院として今後市立病院が担う役割と課題、学生に対する体験実習などを含めた医師確保の努力などについて、また、看護部長からは、安全で質の高い看護を提供する看護師の育成などについての説明がありました。



フェイスブック等で市議会の情報を発信

市議会では、皆さまに議会活動をお伝えするため、議会だよりのほか、フェイスブックやホームページで関係情報を発信しています。ぜひ、ご覧ください。

ホームページ <http://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html>  
フェイスブック <http://www.facebook.com/kushiroshigikai>



議会広報特別委員会から

現委員での編集は今号で最後となります。任期の2年間、市民の皆さまにより身近に、そして正確に議会情報をお伝えするよう取り組んでまいりました。

平成27年10月10日には、近い将来に選挙権を持つ中学生に、議会制度を体験することにより市政の仕組みや市議会の役割を理解し、まちづくりに対する関心を高めてもらおうと、釧路市議会初めての「中学生模擬議会」を開催いたしました。

開かれた議会を目指しての議会報告会の取り組みも継続し、市民の皆さまから、改善点のもとより、議会の発信力に期待する声もお寄せいただいたところでございます。

今後もこの議会だよりが、市民の皆さまと議会をつなぐ架け橋として進化していくことを望みつつ、任期最後の編集後記とさせていただきます。

ご愛読くださいます。ありがとうございます。

(文責・議会広報特別委員長 金安潤子)



河合初恵 岡田遼 伊東尚悟  
○大越拓也 ◎金安潤子 村上和繁  
(◎委員長 ○副委員長)

平成29年 第1回 2月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(同意・承認)となったもの (40件)

市長提出		議案
予算	平成29年度国民健康保険阿寒診療所事業特別会計予算	条例 いじめ防止対策委員会条例 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 税条例等の一部を改正する条例 手数料条例の一部を改正する条例 手話言語条例 阿寒町コミュニティ施設条例の一部を改正する条例 国民健康保険条例の一部を改正する条例 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等の基準等に関する条例の一部を改正する条例 工場立地法準則条例の一部を改正する条例
	平成29年度国民健康保険音別診療所事業特別会計予算	
	平成29年度農業用簡易水道事業特別会計予算	
	平成29年度動物園事業特別会計予算	
	平成29年度水道事業会計予算	
	平成29年度工業用水道事業会計予算	
	平成29年度下水道事業会計予算	
	平成29年度公設地方卸売市場事業会計予算	
	平成29年度市設魚揚場事業会計予算	
	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算	
	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算	
	平成28年度介護保険特別会計補正予算	
	平成28年度農業用簡易水道事業特別会計補正予算	
	平成28年度動物園事業特別会計補正予算	
	平成28年度病院事業会計補正予算	
	平成28年度水道事業会計補正予算	
平成28年度下水道事業会計補正予算	その他 工事請負契約の締結に関する件	
条例	青少年問題協議会条例の一部を改正する条例	諮問 人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件
		専決処分 平成28年度一般会計補正予算(報告第1号) 平成28年度一般会計補正予算(報告第2号) 交通事故損害賠償額の決定等
議員提出		議案
意見書	二次医療圏の設定に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣および厚生労働大臣)	
	無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書(内閣総理大臣ほか2大臣)	
	海洋ごみの処理推進を求める意見書(内閣総理大臣および環境大臣)	
	指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書(内閣総理大臣および厚生労働大臣)	
委員会提出		議案
意見書	「父母の離婚等の後における子と父母との継続的な関係の維持等の促進に関する法律(仮称)」について慎重な検討を求める意見書	

◎ 賛否が分かれたもの (13件)

○賛成 ×反対

件名	会派名〔( )内は議員数〕※	市長提出						審議結果
		自民ク(7)	市民連合(6)	共産党(4)	市政進(4)	公明(3)	新創ク(3)	
予算	平成29年度一般会計予算	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度駐車場事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度病院事業会計予算	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度港湾整備事業会計予算	○	○	×	○	○	○	可決
	平成28年度一般会計補正予算(議案第33号)	○	○	×	○	○	○	可決
	職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	可決
	副市長の選任について同意を求める件	○	○	×	○	○	○	可決
件名	会派名〔( )内は議員数〕※	議員提出						審議結果
		自民ク(7)	市民連合(6)	共産党(4)	市政進(4)	公明(3)	新創ク(3)	
意見書	国民健康保険における子どもに係る均等割額の軽減等に関する意見書(衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣)	×	○	○	○	○	○	可決
	新たに創設される給付型奨学金の規模拡充を求める意見書(衆・参議院議員議長、内閣総理大臣ほか4大臣)	×	○	○	×	○	○	可決
	「テロ等準備罪(共謀罪)」法案に関する意見書	×	○	○	×	×	×	否決

◎ 請願・陳情 (1件)

(1) 審査が終了したもの

○採択 ×不採択

件名	会派名〔( )内は議員数〕※	市長提出						審議結果
		自民ク(7)	市民連合(6)	共産党(4)	市政進(4)	公明(3)	新創ク(3)	
陳情	「父母の離婚等の後における子と父母との継続的な関係の維持等の促進に関する法律(仮称)」について慎重な検討を求める意見書の件	○	○	○	○	○	○	採択

※ 公明の議員数は4人ですが、月田議長が採決に加わっていないため3人としています。